

第 87 回 北九州栄養薬物研究会

謹啓

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、下記の要領にて研究会を開催する運びとなりました。ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

日 時：2020年2月13日（木） 18：30～20：15

会 場：ステーションホテル小倉 5F 飛翔の間

福岡県北九州市小倉北区浅野1-1-1 TEL(093)541-7111

製品説明 18：30～18：45

「イノラス配合経腸用液について」

株式会社大塚製薬工場 小山 慎太郎

講演 18：45～20：15

座長 産業医科大学病院

薬剤部 川道 直子 先生

『TPNの処方設計とリスクマネジメント』

講師 株式会社大塚製薬工場 学術部 梅田 直樹 先生

現在、栄養療法は「腸を使えるなら腸を使おう」を合言葉に早期経腸栄養・早期経口摂取の取り組みが加速されている。しかし、静脈栄養が悪というわけではなく、腸管を安静にしなければならない時食事や経腸栄養からのカロリー・蛋白が足りない時には静脈栄養が絶対的な適応となり、静脈栄養も重要な栄養投与ルートである事に変わりはない。また、近年PICCカテーテル、CVポートの造設件数が増えており、適切な静脈栄養を必要とするシーンが増えているともいえる。経腸栄養剤はどの製品を選択したとしても5大栄養素がバランスよく配合されており、栄養バランスにおいて注意すべき点は比較的少ない。一方、静脈栄養はキット製剤が普及したとは言え、すべての栄養素を過不足なく投与するためには処方設計が必要であり、合併症対策として、各栄養素の投与速度にも目を向ける必要がある。本講演ではTPNの特性、処方設計、リスクマネジメント対策を中心に述べていきたい。

以上

共催： 福岡県病院薬剤師会 洞薬会（北九州地区勤務薬剤師会）北九州栄養薬物研究会
株式会社大塚製薬工場

* 日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修（Ⅲ-2）1単位

* 日本薬剤師会研修センター研修1単位

参加費として1000円徴収させていただきます。（研修生、学生は除く）

※日本薬剤師研修センターシールを希望される先生は、当日受付にて薬剤師免許番号の記入が必要となります。免許番号が不明な場合は、シールの配布が出来ませんのでご注意ください。